

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月29日

上場会社名 株式会社プロルート丸光 上場取引所 JQ
 コード番号 8256 URL <http://www.proroute.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳央
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 原田 一美 TEL 06(6262)0303

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年3月21日～平成19年12月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	28,622	(△2.5)	1,313	(—)	1,236	(—)	711	(—)
19年3月期第3四半期	29,368	(△0.4)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
19年3月期	36,874		1,511		1,394		617	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	39 10	—
19年3月期第3四半期	—	—
19年3月期	33 65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	22,024	7,238	32.9	397 93
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	21,375	6,762	31.6	371 77

(注) 売上高以外の項目につきましては、第3四半期の連結業績の開示を当四半期より実施しております。

このため、前年第3四半期及び対前年同四半期増減率の数値は記載しておりません。

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 3 月 21 日～平成 20 年 3 月 20 日) 【参考】

当第 3 四半期の業績は、概ね計画に近い水準で推移しており、平成 19 年 11 月 6 日に発表いたしました通期の業績予想について変更はありません。

3. その他

- | | | |
|--|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 無 |

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他 をご覧ください。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移する中、設備投資は引き続き増加基調にあり、景気は緩やかに拡大いたしました。しかしながら、米国のサブプライムローン問題による株価の下落、原油価格の高騰に端を発したさまざまな物価の上昇、さらには政府の税制改革や社会保障費負担の増大などを背景に個人消費は力強さに欠け、景気の先行きに不安感が広がっております。当社グループの属する衣料品業界においても、暖冬傾向の影響などもあり秋冬物商品の販売が伸び悩み、厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては事業基軸である専門型前売業の更なる営業力強化によって、前売卸業界のトップレベルに位置付くための「企業の格」を高めていく方針を掲げ、

1. 時流にあった「プライベートブランド商品」の開発と「高品質のサービス」を構築
2. 売場営業力拡大のため、生活スタイル提案型売場作りの強化
3. 成長力のある顧客の発見と創造

等に取り組み、一定の成果を上げることが出来ました。しかしながら、前述の異常気象の影響は小さくなく、子会社の小売事業部門も含め、顧客の買い控えが顕著で、目標数値に僅かながら及びませんでした。

以上の結果、当四半期の売上高は 286 億 22 百万円（前年同期比 2.5%減）、営業利益は 13 億 13 百万円、経常利益は 12 億 36 百万円、純利益は 7 億 11 百万円となりました。

なお、当社グループの場合、売上高及び利益が、第 1 及び第 3 四半期には高く、第 2 及び第 4 四半期には低くなる傾向があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

第 3 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 649 百万円増加しました。主な増減は、流動資産では売掛金の増加 954 百万円などがあり、また、流動負債では買掛金の増加 400 百万円、短期借入金の減少 170 百万円などがありました。

純資産は、その他有価証券評価差額金などが増加し、475 百万円の増加となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・ たな卸資産の計上は、実地棚卸を省略し、帳簿たな卸高によっております。
- ・ 税金費用については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- ・ 影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	当四半期末 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期末	(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金及び預金	569,088	832,604
2 売掛金	3,688,720	2,733,808
3 棚卸資産	1,304,947	1,227,359
4 その他	229,015	181,887
流動資産合計	5,791,772	4,975,660
II 固定資産		
1 有形固定資産		
(1) 建物	3,943,315	4,025,830
(2) 土地	10,065,754	10,065,754
(3) その他	412,088	456,994
有形固定資産合計	14,421,158	14,548,579
2 無形固定資産	58,578	71,208
3 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	554,836	704,030
(2) 差入保証金	695,326	734,542
(3) その他	502,549	341,144
投資その他の資産合計	1,752,712	1,779,718
固定資産合計	16,232,449	16,399,506
資産合計	22,024,221	21,375,166

科 目	当四半期末 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期末	(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)		
I 流動負債		
1 買掛金	1,624,293	1,223,786
2 短期借入金	8,373,600	8,544,040
3 その他	1,323,115	871,127
流動負債合計	11,321,008	10,638,954
II 固定負債		
1 長期借入金	2,415,100	2,942,800
2 退職給付引当金	911,049	869,713
3 その他	138,949	161,306
固定負債合計	3,465,098	3,973,819
負債合計	14,786,107	14,612,773
(純資産の部)		
I 株主資本		
1 資本金	1,861,940	1,861,940
2 資本剰余金	1,456,450	1,456,450
3 利益剰余金	3,679,708	3,241,385
4 自己株式	△94,122	△93,868
株主資本合計	6,903,976	6,465,906
II 評価・換算差額等		
1 その他有価証券評価差額金	334,137	296,486
評価・換算差額等合計	334,137	296,486
純資産合計	7,238,113	6,762,392
負債純資産合計	22,024,221	21,375,166

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	当四半期 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)
I 売上高	28,622,899	36,874,186
II 売上原価	22,353,957	28,918,319
売上総利益	6,268,942	7,955,866
III 販売費及び一般管理費	4,955,112	6,444,648
営業利益	1,313,829	1,511,218
IV 営業外収益	55,196	60,149
V 営業外費用	132,459	176,775
経常利益	1,236,566	1,394,592
VI 特別利益	874	—
VII 特別損失	16,515	218,507
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,220,925	1,176,085
税金費用	509,754	558,811
四半期 (当期) 純利益	711,170	617,274

以 上